作成日　2024 年 10 月 31 日（第 5 版）

人を対象とする医学系研究に関する情報公開

福島県立医科大学神経精神医学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の人を対象とする医学系研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成 30 年 12 月　　福島県立医科大学医学部神経精神医学講座　講座主任
三浦　至

【研究課題名】疼痛に対する集団精神療法の包括的な効果と治療予測因子の検討
【研究期間】
平成 30 年 12 月～令和 7 年 12 月
【研究の意義・目的】

福島県立医科大学附属病院心身医療科（以後、「当科」とする）では、当科が診療する疼痛性障害患者さまに対して多面的な生物―心理―社会的指標の検査にご協力いただき、検査結果に基づいて患者さまの病状を正確に把握するように取り組んでおります。また、当科および整形外科や放射線科が共同した治療体系を構築することで、検査結果に基づいた、より良い治療方法を患者さまに提供できるように日々努めております。この治療方法の１つに集団精神療法があります。集団精神療法は、精神疾患に対する治療法の１つとしてその効果が確立されており、個人精神療法と遜色のない効果が得られるため、費用対効果に優れた方法であると言われています。集団精神療法、複数の患者さんが、医師や心理士などの医療者とともに、自身の問題について話し合いをし、その問題を解決する方法を考え、日常生活の中で実践する方法です。

一方、うつ病や不安症といった精神疾患に対する治療効果は、精神医学的診断や質問紙法による効果判定に留まらず、脳画像の変化による効果判定が盛んに行われてきており、より精度の高い治療効果の判定が可能になりつつあります。疼痛性障害に対しても、脳画像研究を用いた病態理解が進み、健常者と疼痛性障害の間には脳画像上の違いが検出されています。したがって、疼痛性障害が改善する過程において、集団精神療法を行うことで、精神医学的診断や質問紙法による改善のみならず、脳画像上の改善が生じることは十分に予測されます。

さらに、疼痛性障害には様々なサブタイプがあり、疼痛性障害のサブタイプに合わせた集団精神療法を行うことによって、効率的で、効果的な治療を提供できることが期待できます。サブタイプについては、脳画像上の違いに加えて、血液検査、脳波、光トポグラフィ、認知機能検査、発達検査など、多面的な生物―心理―社会的指標によって広範に検出される可能性が高いです。

よって、これらの指標によって検出される疼痛性障害のサブタイプによって、集団精神療法の効果も異なることが予測されますが、残念なことに、この点については十分に明らかにされておりません。先に述べた通り、当科では、診療の中で、患者さまの病状を正確に把握し、治療につなげることを目的として、各種検査を行っていることに加えて、疼痛性障害の集団精神療法を定期的に実施しております。診療上ご協力いただいた検査結果を研究上活用させていただくことによって、疼痛性障害に対する集団精神療法の効果やその予測因子をより明確にでき、将来の疼痛性障害に対する医療の進展と円滑化に寄与することが期待できます。

本研究は、疼痛性障害に対する集団精神療法において、精神医学的診断や質問紙法に加え、脳画像（脳血流 SPECT、MRI、CT）を用いて治療効果を検討し、心理検査、脳画像検査、血液検査、脳波、光トポグラフィ、認知機能検査、発達検査など、多面的な生物―心理―社会的指標を用いたサブタイプ分類による治療効果の予測因子の解明に取り組みます。

【研究の対象となる方】
本研究は、2006年1月から2018年11月までに集団精神療法を実施された患者さんを対象として様々な指標を集め解析を行う後ろ向き研究と、これから集団精神療法を実施される患者さんを対象として同様に指標を集め解析を行う前向き研究から構成されています。

【研究の方法】
前向き研究から前向き部分で得た結果も後ろ向き研究では検証します。
後ろ向き研究で集める指標は以下の通りです。
精神疾患構造化面接（The Mini-International Neuropsychiatric Interview：MINI）、生理検査（知覚・痛覚定量検査：PAINVISION®）、質問紙（症状評価　Brief Pain Inventory：BPI / Patient Health Questionnaire-9：PHQ-9 /　生活の質 12 items Short Form Health Survey：SF-12 / Roland-Morris Disability Questionnaire：RDQ / 集団精神療法のプロセス評価　Behavioral Activation for Depression Scale：BADS / Valuing Questionnaire：VQ / Pain Catastrophizing Scale：PCS、MPI：Multidimensional Pain Inventory / Generalized Anxiety Questionnaire：GAD-7 / Pain Self-Efficacy Questionnaire：PSEQ）、頭部画像検査（CT, MRI, SPECT）。
また、以下の情報も集めます。
性別、年齢、身長、体重、罹病期間、未治療期間、過去の治療歴（薬剤を含む）、臨床症状評価尺度（陽性・陰性症状評価尺度 Positive and Negative Syndrome Scale：PANSS, ハミルトンうつ病評価尺度 Hamilton Depression rating scale：HAM-D /　モントゴメリー・アスベルグうつ病評価尺度 Montgomery-Asberg Depression Rating Scale：MADRS, ヤング躁病評価尺度 Young Mania Rating Scale：YMRS, 老年期うつ病評価尺度 Geriatric Depression Scale：GDS, うつ性自己評価尺度 Self-rating Depression Scale：SDS，腰痛における精神医学的問題を見つけるための簡易問診表 Brief Scale for Psychiatric Problems in Orthopedic Patients：BS-POP, 簡易客観的精神指標検査 Utena's Brief Objective Measures：UBOM, など）、心理検査、血液検査、脳波（EEG, ERPs）、光トポグラフィ(near-infared spectroscopy：NIRS)、認知機能検査（改訂長谷川式簡易知能評価尺度 Hasegawa Dementia Scale, Revised：HDS-R / ミニメンタルステイト検査 Mini Mental State Examination：MMSE / Montreal Cognitive Assessment - Japanese Version：MOCA-J）、発達検査（Conners' Adult ADHD Diagnostic Interview for DSM-Ⅳ：CAADID / The Conners Adult ADHD Rating. Scales：CAARS）。

【研究組織】福島県立医科大学医学部
研究責任者（所属）神経精神医学講座（職）教授　（氏名）三浦至
主任研究者（所属）神経精神医学講座（職）病院助手　（氏名）戸田亘
研究分担者（所属）放射線医学講座　（職）教授　（氏名）伊藤浩
研究分担者（所属）保健科学部診療放射線科学科（職）教授（氏名）久保均
研究分担者（所属）医療人育成・支援センター（職）教授（氏名）大谷晃司
研究分担者（所属）保健科学部理学療法学科（職）教授（氏名）矢吹省司
研究分担者（所属）放射線医学講座（職）准教授　（氏名）石井士朗
研究分担者（所属）神経精神医学講座（職）准教授　（氏名）板垣俊太郎
研究分担者（所属）神経精神医学講座（職）兼任准教授（氏名）志賀哲也
研究分担者（所属）神経精神医学講座（職）助手　（氏名）松本貴智
研究分担者（所属）神経精神医学講座（職）助教　（氏名）上田由桂
研究分担者（所属）神経精神医学講座、医療人育成・支援センター（職）助教（氏名）青木俊太郎
研究分担者（所属）放射線医学講座　（職）助手　（氏名）関野啓史
研究分担者（所属）放射線医学講座　（職）助手　（氏名）黒岩大地
研究分担者（所属）先端臨床研究センター（職）助手（氏名）菅原茂耕
研究分担者（所属）整形外科学講座　（職）准教授　（氏名）二階堂琢也

研究分担者（所属）附属病院ふたば救急総合医療支援センター　（職）准教授（氏名）渡邉和之
研究分担者（所属）整形外科学講座　（職）講師　（氏名）加藤欽志
研究分担者（所属）整形外科学講座　（職）学内講師　（氏名）小林洋
研究分担者（所属）神経精神医学講座（職）病院助手　（氏名）横倉俊也
研究分担者（所属）放射線医学講座（職）助手（氏名）末永博紀
研究分担者（所属）放射線医学講座　（職）専攻医　（氏名）山國遼
研究分担者（所属）放射線医学講座　（職）専攻医　（氏名）渡邊宏剛
研究分担者（所属）神経精神医学講座（職）専門医療技師　（氏名）菅野和子
研究分担者（所属）神経精神医学講座（職）助手　（氏名）志賀可奈子
研究分担者（所属）神経精神医学講座（職）心理士　（氏名）大西真央
研究分担者（所属）神経精神医学講座（職）心理士　（氏名）七海隆之

研究分担者（所属）神経精神医学講座、国立精神・神経医療研究センター（職）博士研究員（前者）、室長（後者）　（氏名）松本純弥

【他の機関等への試料等の提供について】
特にありません。

【本研究に関する問い合わせ先】
本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者ご本人又は代理人の方に御了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに試料・情報の利用、提供をいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人又は代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果が既に医学雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

○研究内容に関する問い合わせの窓口
〒960-1295　福島県福島市光が丘１
公立大学法人福島県立医科大学医学部神経精神医学講座　担当　戸田亘
電話:024-547-1331　FAX: 024-548-6735
E-mail:neuropsy@fmu.ac.jp
○試料・情報を当該研究に用いられることについて拒否する場合の連絡先
〒960-1295　福島県福島市光が丘１
公立大学法人福島県立医科大学医学部神経精神医学講座　担当　戸田亘
電話:024-547-1331　FAX: 024-548-6735
E-mail:neuropsy@fmu.ac.jp